

「サツマイモ基腐対策は」

「町内全域での防除体制に 取り組み事が重要」

Answer

ひだかまさのり
日高正則 議員



問 サツマイモ基腐病の発生状況をどのように認識されているか。

町長 生産者の方々に、被害を食い止めるために、それぞれ防除の徹底を図って頂きたいと考えている。

問 県内、町内の発生状況は、

農業政策課長 県内の発生状況は、県に確認したところ、本年度はまた増加傾向である。町内の発生状況は、令和4年度が年間10件、令和5年度

は11月現在で15件発生が確認されており増加している状況と言える。

問 発生農家に対する支援内容について

農業政策課長 ウイルスフリー苗の購入費用・苗や苗床を消毒するため必要な薬剤の購入費用への補助がある。昨年度、町内で発生した農家の方々は支援を受けている。

問 今後の対応について

農業政策課長 基腐病原菌を持つち込まない・増やさない・残さない・この3つのポイントを農家の皆様が徹底していくことが重要。ドローンによる薬剤散布を含め、関係機関とも連携して検討していきたい。

◆豚熱の防疫対応について九州での豚熱ワクチン接種について、どのように認識しているか。

町長 本町にも多くの豚が飼養されており、養豚農家の方々には、大きな負担と苦労もあると認識している。全国に感染が広がる豚熱が1日も早く収束することを願っている。

問 国・県のワクチン接種防疫指導については、

農業政策課長 国や県はワクチン接種体制を整え、市町村や生産農家に対して、ワクチン接種をはじめ、豚熱防疫全般に関する会議を県が随時開催し、防疫に対する周知を行っている。

問 町としてのワクチン接種対応については、

はししげふみ
橋重文 議員



問 高鍋町内のAEDの設置状況は、現在50ヶ所。

問 町大会実施のスポーツ大会にはAEDは携行しているか。

社会教育課長 携行している。

問 県内の市町村が把握するAEDの約8割が利用できない時間帯があることが分かっているが、常時使えるところへ設置する予定はないか。

町長 検討したい。

「常時使用可能な位置へのAED設置は」

「小中学校は屋外設置を検討」

Answer

はししげふみ
橋重文 議員

教育長 小中学校は屋外設置を検討している。

問 AED設置場所を地図上で表示するとともに設置箇所も表記できないか。

総務課長 検討したい。

意見 救急車現場到着までの平均時間は9・9分。消防機関とも連携を取り、救急車到着前のAEDの早期使用を図ってほしい。

問 AEDの取扱いが可能で、かつ心肺蘇生法も出来る職員はどのくらいいるのか。

総務課長 救命講習を受講した職員も多数いるが、計画的に職員の受講を検討していきたい。

問 AEDの点検状況は、

総務課長 消耗品交換時に行っている。

意見 消耗品交換間隔1年6か月では点検間隔が長過ぎる。もっと短いスパンで点検を。

処置 一般質問を行った翌日より、短期間での点検が開始された。

◆高鍋町の町営住宅における住宅用火災警報器について

問 町営住宅における住宅用火災警報器の設置率は、

建設管理課長 100%。

問 設置は居住者負担か町負担か。

建設管理課長 町負担。

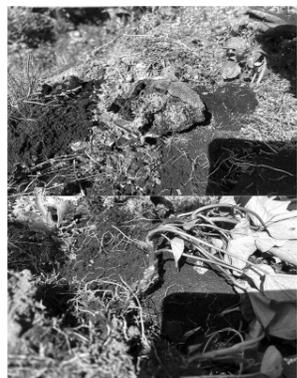
問 聴覚障害者の入居している住戸には適応できるものが設置されているのか。

福祉課長 していない。

農業政策課長 県からのワクチン接種実績に基づき、各農家から指定金融機関への手数料の振り込みを確認し、県へ徴収実績を報告することになっている。

問 今後のワクチン接種の考え方は、

農業政策課長 豚熱の感染が完了に収まるまで、ワクチン接種が続くので、養豚農家にとつて、経営上負担となるので、12月補正予算でワクチンへの補助を計上している。



サツマイモ基腐病の発生状況

豚熱の感染が完了に収まるまで、ワクチン接種が続くので、養豚農家にとつて、経営上負担となるので、12月補正予算でワクチンへの補助を計上している。

かしはらとみこ
榎原富子 議員



問 水害避難支援に命を守るための行動やきめ細かい避難計画を行っている中で公民館がコンパクトであることからトイレや台所などが余裕をもって使えると考える。そのため被災しやすい所の公民館とそうでない公民館が提携を行うことができるか。

町長 公民館との提携について、これまでも各地区の自治公民館長に指定避難所にすることをお願いしている。しかし、未だに指定避難所の指定には至っていない。津波洪水災害等に被災する可能性の低い自治公民館の指定避難所の指定に向けて、各地区の自治公民館長と継続して協議を進めたいと考えている。

問 公民館ごとに避難場所を決めることで避難時に渋滞の発生を抑制することになるのではないかと考えられる。現在の指定されている避難所では駐車場が狭

かったり、避難場所に役場の方が来るのが遅かったり、町民の方が困ったりする意見を伺っている。

町長 公民館との提携について、これまでも各地区の自治公民館長に指定避難所にすることをお願いしている。しかし、未だに指定避難所の指定には至っていない。津波洪水災害等に被災する可能性の低い自治公民館の指定避難所の指定に向けて、各地区の自治公民館長と継続して協議を進めたいと考えている。

問 公民館ごとに避難場所を決めることで避難時に渋滞の発生を抑制することになるのではないかと考えられる。現在の指定されている避難所では駐車場が狭

かったり、避難場所に役場の方が来るのが遅かったり、町民の方が困ったりする意見を伺っている。

問 聴覚障がい者に対する補助は、

福祉課長 障害等級2級以上の人には、15500円×購入数の給付基準がある。

意見 該当する方には必ず声掛けをお願いする。

問 点検方法は、

建設管理課長 点検要領を示し居住者が実施。使用不可となつた住宅用火災警報器の電池の処分は、

町民生活課長 乾電池は乾電池収納箱へ、リチウム電池は回収登録電気店へ。町民生活課へ持参すれば個別対応も可能。

問 指定避難所は、災害の状況や避難者数の状況に応じて段階的に避難所を開設することとしている。公民館ごとに避難場所を決めることは現在のところ検討はしていない。避難者の分散を促す手段として、スマートフォン等で避難所の混雑状況がリアルタイムで確認できる避難所混雑状況サービスの活用を行っている。このサービスを引き続き周知を行い、混雑解消を図っていく。

総務課長 指定避難所は、災害の状況や避難者数の状況に応じて段階的に避難所を開設することとしている。公民館ごとに避難場所を決めることは現在のところ検討はしていない。避難者の分散を促す手段として、スマートフォン等で避難所の混雑状況がリアルタイムで確認できる避難所混雑状況サービスの活用を行っている。このサービスを引き続き周知を行い、混雑解消を図っていく。

かったり、避難場所に役場の方が来るのが遅かったり、町民の方が困ったりする意見を伺っている。

小中学校は屋外設置を検討している。

AED設置場所を地図上で表示するとともに設置箇所も表記できないか。

検討したい。

救急車現場到着までの平均時間は9・9分。消防機関とも連携を取り、救急車到着前のAEDの早期使用を図ってほしい。

AEDの取扱いが可能で、かつ心肺蘇生法も出来る職員はどのくらいいるのか。

救命講習を受講した職員も多数いるが、計画的に職員の受講を検討していきたい。

AEDの点検状況は、

消耗品交換時に行っている。

消耗品交換間隔1年6か月では点検間隔が長過ぎる。もっと短いスパンで点検を。

一般質問を行った翌日より、短期間での点検が開始された。

高鍋町の町営住宅における住宅用火災警報器について

町営住宅における住宅用火災警報器の設置率は、

100%。

設置は居住者負担か町負担か。

町負担。

聴覚障害者の入居している住戸には適応できるものが設置されているのか。

していない。



役場内に設置されているAED

◆高鍋町キャリア教育センターについて

宮崎市の小学校で日曜参観を利用して地域住民と小学生とのふれあい交流会で参加者の笑顔を見て、高鍋でも子どもとの関わりで地域の治安にもつながると感じた。町の人材バンクを作ることでキャリア教育支援や部活動指導者の移行問題への解決につながるのではないか。

コミュニケーション・スクール事業として、地域学校協働本部と学校運営協議会の2つで学校運営支援を行っている。学校支援ボランティア活動実施要綱に基づ

き、人材バンク的な役割を効果的に担うことができるよう、様々な分野の人材にボランティア登録を積極的に働きかけていく。



中学生との交流会の様子